

埼玉県立大学研究開発センターシンポジウム 2023

開催形式：Web シンポジウム、オンデマンド配信（2月中旬～7月末日）

テーマ：子どもの最善の利益の実現を目指して

プログラム：基調講演「医療的ケア児の現状と支援の課題」林恵津子（埼玉県立大学社会福祉子ども学科教授）／特別講演「こども政策の課題と展望」渡辺由美子（こども家庭庁長官）／シンポジウム1「虐待を見逃さないための子どものサインとは—当事者・支援者の目線から」ブローハン聡（コンパスナビ事務局長・支援事業部部長代理）／2「子どもの貧困の連鎖を断つために—困窮世帯への学習支援から見てきた課題と必要な支援」土屋匠宇三（彩の国子ども・若者支援ネットワーク代表理事）／3「ケアを担う子どもたち—ヤングケアラーの理解と支援—子どもが子どもでいられるように」上原美子（埼玉県立大学共通教育科教授）／4「公立中学校教師から見た子ども支援の課題」岩田彦太郎（三郷市立南中学校）／5「地域で取り組む子ども応援プロジェクト」大塚竜自（北本市社会福祉協議会地域福祉グループ）、松本りえ子（同）／6「子ども支援に向けた埼玉県の取組について」山中馨（埼玉県福祉部少子政策課副課長）／パネルディスカッション／ほか

参加費：無料

参加登録方法：下記 URL から

<https://www.spu.ac.jp/research/centers/tabid848.html>

問い合わせ先：埼玉県立大学研究開発センター

✉ Research_c@spu.ac.jp

☎ 048-973-4362

日本看護サミット 2023

日時：2月14日（水）

会場：東京国際フォーラム ホールA（東京都千代田区）

テーマ：地域社会を支える看護職への生涯学習支援

プログラム：鼎談「これからの時代の看護職の活躍を支える生涯学習支援とは」石田昌宏（参議院議員）、習田由美子（厚生労働省医政局看護課長）、高橋弘枝（日本看護協会会長）／解説「看護職の生涯学習支援のこれまでの取り組みと成果・課題」井伊久美子（日本看護協会副会長）／リレートーク「施設・組織の枠を超えた生涯学習支援」：1「各施設での生涯学習支援の取り組みの現状と課題（病院）」大西潤子（武蔵野中央病院看護部長）／2「各施設での生涯学習支援の取り組みの現状と課題（高齢者介護施設等）」吉村双羽（特別養護老人ホームナーシングケア北方施設長）／3「複数施設で協働した実践の場での学習機会の創出」井川順子（京都大学医学部附属病院病院長補佐・看護部長）／4「地域を基盤とした生涯学習支援の試み」佐藤悦子（山梨県看護協会会長）／5「教育機関と地域の医療機関が連携した生涯学習支援の取り組み」菅原京子（山形県立保健医療大学看護実践研究センター長）／総括討論「全ての看護職への生涯学習支援の実現に向けて」井伊久美子（日本看護協会副会長）、吉川久美子（日本看護協会常任理事）、大和日美子（福岡県看護協会会長）

参加費：7700円

申込方法：下記 URL から

<https://www.nurse.or.jp/nursing/>

summit/2023/

問い合わせ先：日本看護サミット 2023 運営事務局

✉ info@kango-summit2023.com

第30回日本母乳哺育学会教育委員会主催勉強会

日時：2月11日（土・祝）10:00～14:30

開催形式：Web 開催

テーマ：産後ケアと母乳育児支援

プログラム：

【午前の部】10:10～11:40

講演「産後ケア事業の概説」加藤斐菜子（こども家庭庁成育局母子保健課）／「産後ケア事業ガイドラインについて」安達久美子（東京都立大学人間健康科学研究科助産学専攻科）

【午後の部】12:20～14:20

シンポジウム「産後ケアの実際と母乳育児支援」／1「『助産師のための産後ケアガイド2023』を活用した支援の実際」永森久美子（世田谷区立産後ケアセンター）／2「産後ケアの実際—出産した施設以外の施設での実際」木村恵子（しらさぎふれあい助産院）／「産後ケアの実際—デイケアサービス型／妊娠期からの継続した支援」田中茂樹（たなかクリニック産婦人科）／ほか

参加費：日本母乳哺育学会会員 2000円、非会員 6000円、行政で産後ケアに関わるスタッフ 4000円

申込方法：Peatix（「日本母乳哺育学会」で検索）

日本健康相談活動学会第20回学術集会

日時：2月24日（土）～25日（日）

開催形式：現地開催（LIVE 配信あり）

会場：女子栄養大学（埼玉県坂戸市）

テーマ：健康相談活動学の構築と未来戦略—これまでの20年とこれからの20年を見据えて

プログラム：学会長基調講演「健康相談活動学の構築と未来戦略—これまでの20年とこれからの20年を見据えて」大沼久美子（女子栄養大学教授）／鼎談「日本健康相談活動学会設立20周年を振り返る—今までとこれからへの期待」三木とみ子（日本健康相談活動学会理事長）、徳山美智子（同顧問）／シンポジウム「健康相談活動学の構築と未来戦略」酒井都仁子（東京医療保健大学准教授）、丸丸真智子（志木市立志木中学校養護教諭）、松崎美枝（文部科学省初等中等教育局健康教育食育課調査官）、佐々木司（東京大学大学院教育学研究科教授・精神科医）／教育講演「多様な性を生きる子どもたちのために—養護教諭への期待」土肥いつき（立命館大学客員研究員・関西大学非常勤講師・信州大学非常勤講師・京都府立高校教諭）／ほか

参加費：会員 6000 円、非会員 7000 円、学生 2000 円

参加申込：下記 URL から

URL <https://jahca.confite.atlas.jp/login>

問い合わせ先：日本健康相談活動学会第20回学術集会事務局
✉ jahca20th@gmail.com

第38回日本がん看護学会学術集会

日時：2月24日（土）～25日（日）

会場：神戸国際展示場2号館・3号館／神戸国際会議場（兵庫県神戸市）

テーマ：コラボレーション—深化・進化するがん看護

プログラム：会長講演「コラボレー

ション—深化・進化するがん看護」鈴木久美（大阪医科薬科大学看護学部教授）／特別講演「ケアの本質としての「弱さ」—日々のケアとしてのナラティブ・アプローチ」宮坂道夫（新潟大学大学院保健学研究科教授）／シンポジウム1「がん患者の就労支援—患者支援者と企業とのコラボレーション」久保田昌詞（大阪労災病院治療就労両立支援センター所長）、櫛原千鶴（NTT西日本総務人事部健康経営推進室）、伊藤由美子（兵庫県立がんセンターがん相談支援センター看護師長）、関孝子（関孝子社会保険労務士事務所代表）／2「次世代のがん医療を支える“多職種協働型人材養成”」菊池博之（文部科学省高等教育局医学教育課課長補佐）、藤田佐和（高知県立大学看護学部長）、田中圭（長崎医療センター医療相談支援センターがん看護専門看護師）／3「小児がんサバイバーの移行支援を促進する」湯坐有希（東京都立小児総合医療センター血液・腫瘍科部長）、福地朋子（大阪母子医療センター看護部副看護師長）、雨宮健太（大阪市立総合医療センター内分泌内科）、土井久容（神戸大学医学部附属病院看護部腫瘍センター副看護師長）／4「がんゲノム情報に基づいたがん治療のパラダイムシフトと倫理的課題」吉野孝之（国立がん研究センター東病院副院長）加藤和人（大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学教授、総長補佐）、菅野かおり（日本看護協会神戸研修センター教育研修部認定看護師教育課程課長）／教育講演／パネルディスカッション／交流集会／教育セミナー／ほか

参加費：会員 1万2000円、非会員 1万4000円、学生 3000円

申込方法：下記 URL から

URL <https://a-youme.net/js-cn/entry/>

[c_register/enter.php](https://a-youme.net/js-cn/enter.php)

問い合わせ先：運営事務局

〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内

☎ 06-6131-6605

✉ js-cn38@a-youme.jp

2023年度第4回親子ヘルサボ講演会

日時：3月10日（日）13:30～15:30

開催形式：Web 講義

テーマ：発達心理学の知見を踏まえて今の子育ての大変さを理解し、親と子の関係を育てる支援とは

講師：山川玲子（心理＆福祉サポートステーション折り紙理事・子どもの虐待防止センター・臨床発達心理士）

参加費：会員 1000 円、非会員 3000 円

参加登録方法：下記 URL から

URL <https://forms.gle/vCLbqtwXviaTJpz79>

申込締切：3月2日（土）

問い合わせ先：保健師による親子ヘルス＆サポート推進協会

✉ oyakohelsapo@gmail.com

URL <https://fhna.jp>

掲載情報は12月25日現在のものです。最新の情報は主催者にお問い合わせください。

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講演会などのお知らせがありましたら、本編集室までお送りください。

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp